

令和元年度 新潟市地域コミュニティ育成事業

地域の活動 “パワーアップ、ワークショップ〈第1回〉

人口データから知る

小合地区の現状と将来の姿



2019.9.28 / NPO法人まちづくり学校

これからの地域づくりは、
今までの延長ではなく
これからの時代に即した

進化が必要！

現状を捉えることで、これからの取り組みを考える

1) 現状や予測データから将来起こりうることを理解する

➡ 取り組みの方向性を探る

2) 全住民アンケートで地域のニーズを把握する

➡ 住民が望むこと、困っていることを知り、真にやるべきことを判断する

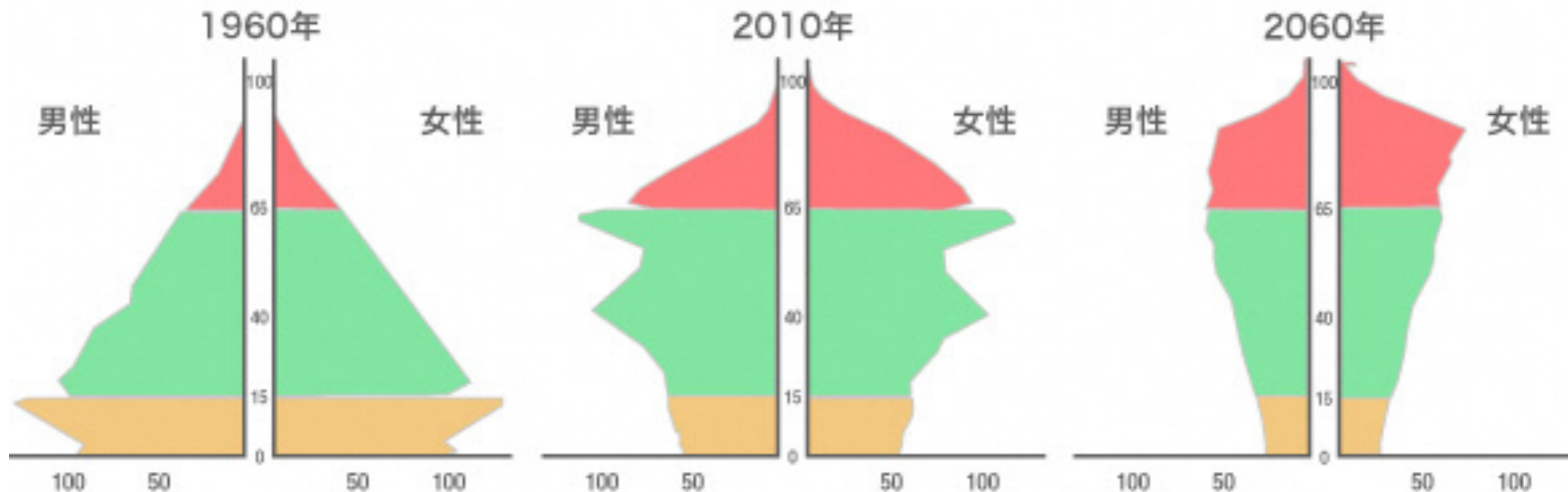
3) 現在の活動の実態をつかみ評価する

➡ やるべきことを実行するための体制・体力を生み出す

人口の推移と将来予測

～地域はこれからどうなるか～

人口ピラミッドの変化



(注)縦軸は年齢、横軸は人口(単位:万人)。

(出典)1960年および2010年は総務省「国勢調査」、2060年は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(2012年1月推計)」の出生中位・死亡中位推計。

2018年の出生率は1.42。

仮に、明日から**出生率が2.xx**になったとして、人口ピラミッドが1960年当時の状況に戻るのは・・・

➔ **50**年以上先
(2070年)

人口減少は避けられない現実



人口減少よりも大きな問題は

人口構成の変化

各年の国勢調査データ

社人研予測ver2018

新潟市	1995年	2005年	2015年	2025年	2035年
人口 (人)	796,456	813,847	810,157	788,987	746,719
0~14歳	129,120	109,251	98,367	88,654	78,489
		20年間で23.8%減少		今後さらに20.2%減少	
15~64歳(A) (生産人口)	546,361	534,104	488,815	453,594	412,742
		20年間で10.5%減少		今後さらに15.6%減少	
65歳~ (高齢者率)	120,408 15.12%	166,995 20.52%	217,107 26.77%	246,739 31.27%	255,488 34.21%
		20年間で80.3%増		20年間で17.8%増	
65~74歳	73,117	88,415	110,208	101,995	97,201
75歳~	47,291	78,580	107,691	144,744	158,287
85歳~(B)	10,108	20,440	34,901	51,105	71,015

※85歳以上の4人1人が要介護3以上/要介護3以上の2人に1人が85歳以上 (国勢調査より)

A÷B	54.1人	26.1人	14.0人	8.9人	5.8人
-----	-------	-------	-------	------	------

※2015年の高齢者率 新潟県平均：29.85% 全国平均：26.63%

数字の意味を知ると、見えてくるものが変わる

地域における年齢層・世代の意味

65歳以上 → 高齢者

でもお元気な方たくさん
いらっしやいますよね？

65～74歳



いま地域の住民自治を
支えている世代

75歳以上

=後期高齢者



地域を支える側から
自らが支えられる側に

85歳以上



4人に1人が要介護3以上

※要介護3以上の2人に1人が85歳以上というデータも
(国勢調査より既に明らかになっている事実)

各年の国勢調査データ

社人研予測ver2018

新潟市	1995年	2005年	2015年	2025年	2035年
人口 (人)	796,456	813,847	810,157	788,987	746,719
0~14歳	129,120	109,251	98,367	88,654	78,489
		20年間で23.8%減少		今後さらに20.2%減少	
15~64歳(A) (生産人口)	546,361	534,104	488,815	453,594	412,742
		20年間で10.5%減少		今後さらに15.6%減少	
65歳~ (高齢者率)	120,408 15.12%	166,995 20.52%	217,107 26.77%	246,739 31.27%	255,488 34.21%
		20年間で80.3%増		20年間で17.8%増	
65~74歳	73,117	88,415	110,208	101,995	97,201
75歳~	47,291	78,580	107,691	144,744	158,287
85歳~(B)	10,108	20,440	34,901	51,105	71,015

※85歳以上の4人1人が要介護3以上/要介護3以上の2人に1人が85歳以上 (国勢調査より)

A÷B 54.1人 26.1人 14.0人 8.9人 5.8人

※2015年の高齢者率 新潟県平均：29.85% 全国平均：26.63%

小合中学校区

Ⅱ.人口

1.人口・世帯数(住民基本台帳)

	総数	男	女	0~14歳	15歳~64歳	65歳以上	(人)	(世帯)	(人)
							うち75歳以上	世帯数	1世帯当たり 世帯人員
2011年	4,080	1,975	2,105	441	2,416	1,223	728	1,180	3.46
		48.4%	51.6%	10.8%	59.2%	30.0%	17.8%		
2016年	3,887	1,883	2,004	396	2,114	1,377	766	1,249	3.11
		48.4%	51.6%	10.2%	54.4%	35.4%	19.7%		
増減	-193	-92	-101	-45	-302	154	38	69	-0.35
	-4.7%	-4.7%	-4.8%	-10.2%	-12.5%	12.6%	5.2%		

2.人口推計

	総数	男	女	0~14歳	15歳~64歳	65歳以上	うち75歳以上
2021年	3,656	1,775	1,881	370	1,845	1,440	737
		48.6%	51.4%	10.1%	50.5%	39.4%	20.2%
2026年	3,398	1,657	1,741	322	1,682	1,394	844
		48.8%	51.2%	9.5%	49.5%	41.0%	24.8%
2031年	3,123	1,526	1,597	268	1,536	1,320	880
		48.9%	51.1%	8.6%	49.2%	42.3%	28.2%
2036年	2,830	1,379	1,451	224	1,373	1,233	812
		48.7%	51.3%	7.9%	48.5%	43.6%	28.7%
2016-2036 増減	-1,057	-504	-553	-172	-741	-144	46
	-27.2%	-26.7%	-27.6%	-43.5%	-35.0%	-10.5%	6.0%

小合地区は市内で3位

- 1位：新潟柳都中学校区 (40.2%)
- 2位：両川中学校区 (35.8%)

秋葉区内中学校区
2016年の高齢化率

小合	35.4%
新津第五	33.2%
金津	32.3%
小須戸	30.7%
新津第一	29.2%
新津第二	23.8%

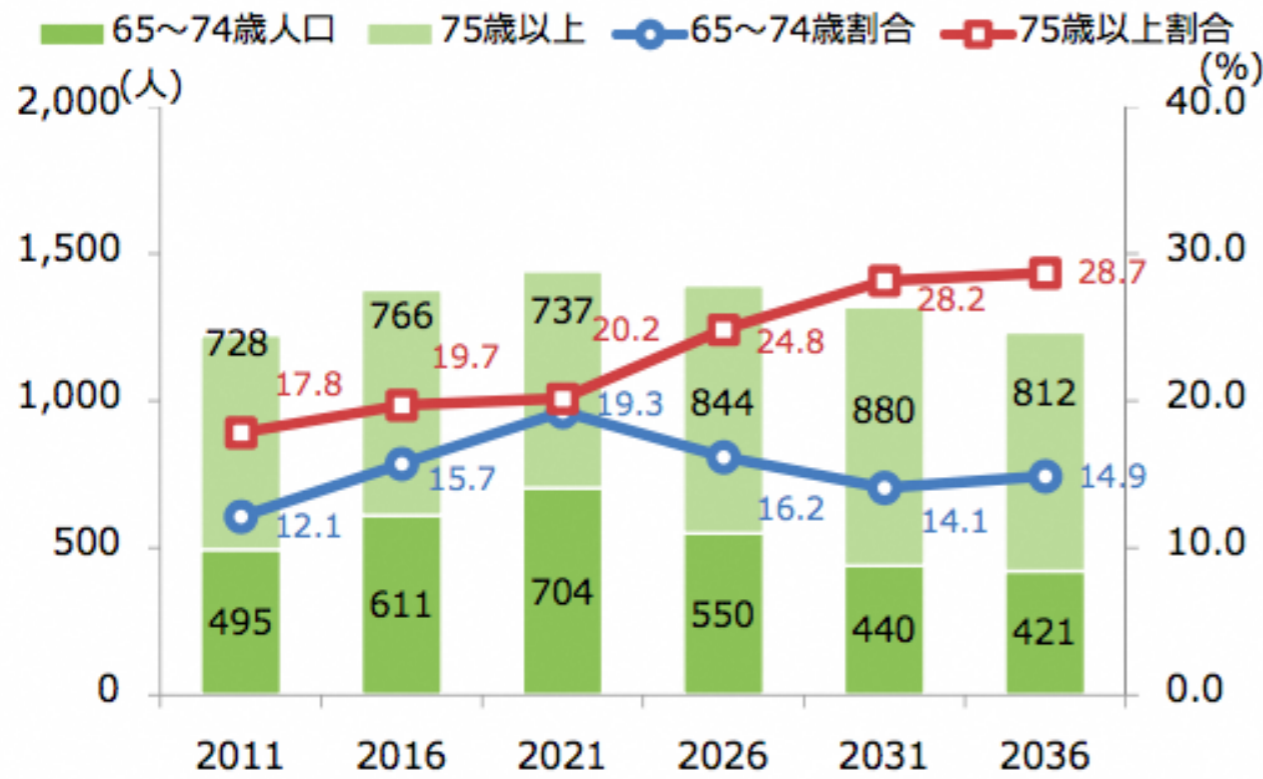
20年間の減少率ランキング

人口総数	0-14歳	15-64歳
11 /58	13 /58	13 /58

20年間の増加率ランキング

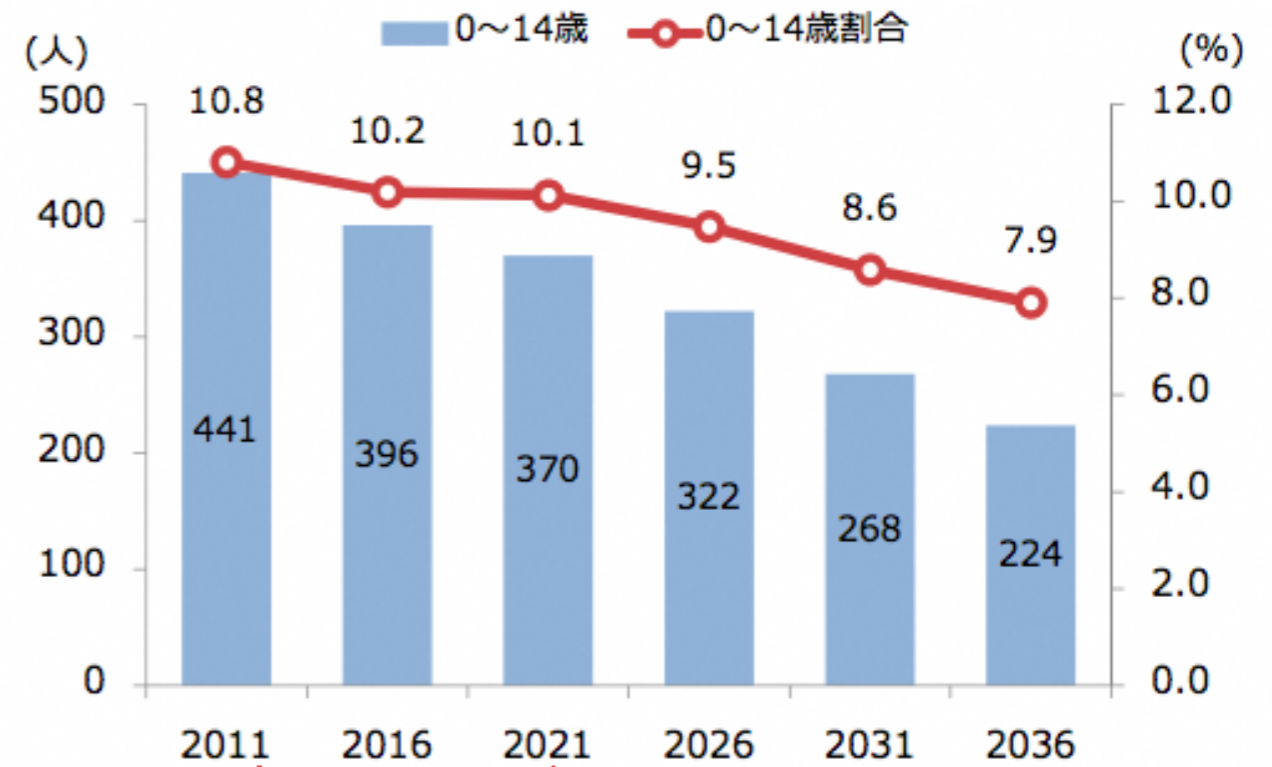
65歳-	75歳-
5 /58	11 /58

④高齢者人口の推移



支える世代<支えられる世代
この先、差が大きくなっていく

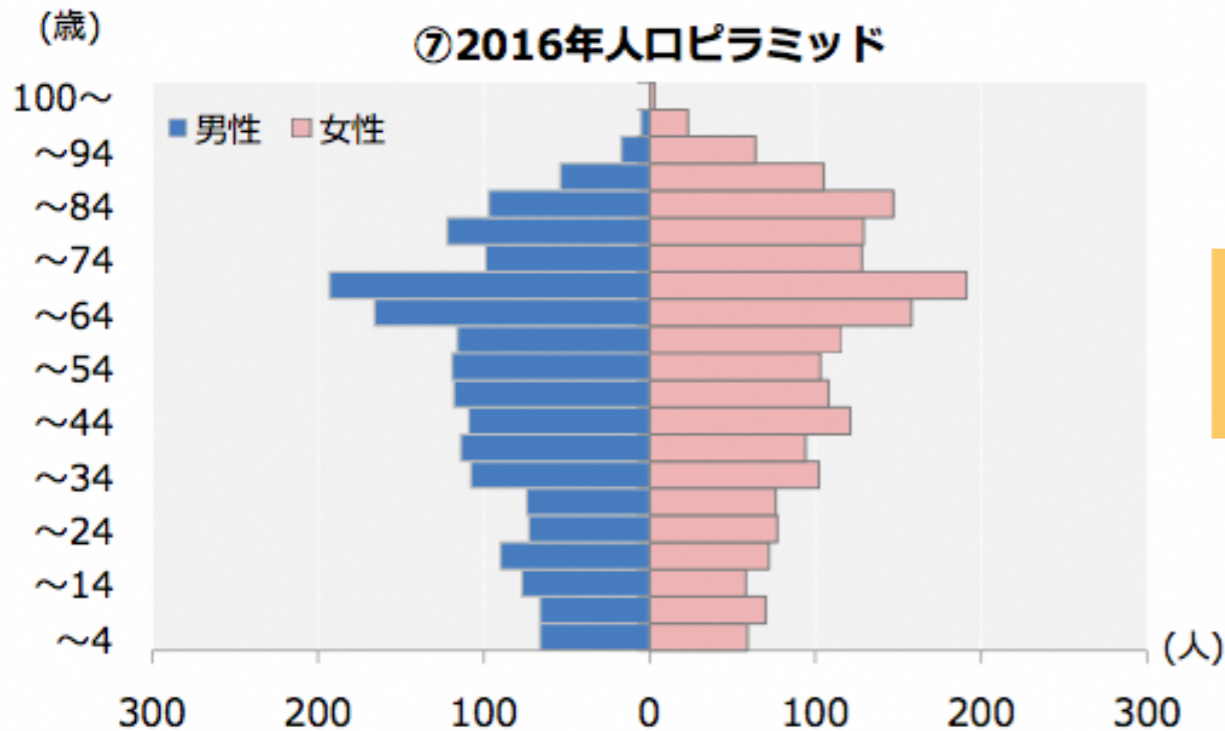
⑤年少人口の推移



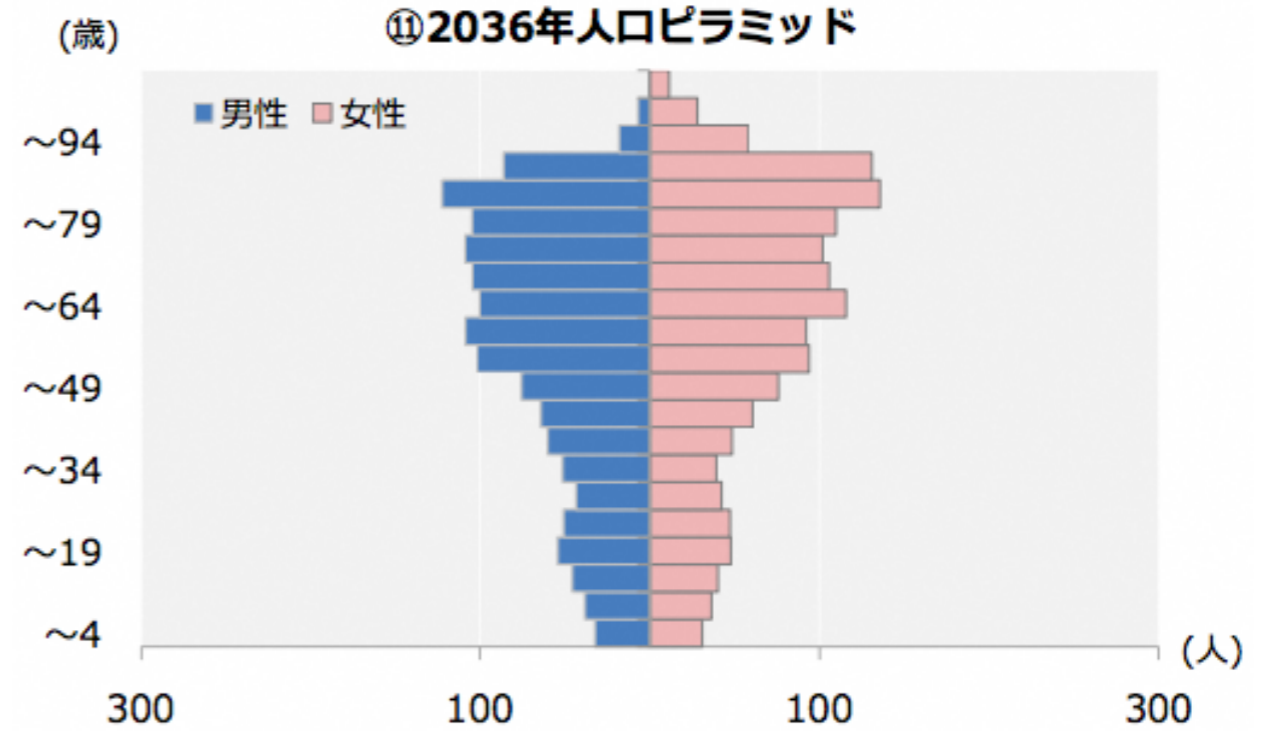
-71人=この10年で約2学級分減

25年間でほぼ半減

⑦2016年人口ピラミッド



⑩2036年人口ピラミッド



人口データから予測する 小合地区の将来の姿

※このデータは新潟市が平成30年度に作成した「地域カルテ」から引用しています。各区・中学校区単位で人口の推移や健康データ、公共施設のデータがまとめられています。詳細をご覧になりたい方は、インターネットで「秋葉区地域カルテ」で検索するか、秋葉区役所地域総務課へお問い合わせください。

小合地区	2011年	2016年	2021年	2026年	2031年	2036年	2016→2036 増減
人口総数	4,080	3,887	3,656	3,398	3,123	2,830	-1,057
0～14歳	441	396	370	322	268	224	-172
	10.8%	10.2%	10.1%	9.5%	8.6%	7.9%	
15～64歳	2,416	2,114	1,845	1,682	1,536	1,373	-741
	59.2%	54.4%	50.5%	49.5%	49.2%	48.5%	
65歳以上 (高齢化率)	1,223	1,377	1,440	1,394	1,320	1,233	-144
	30.0%	35.4%	39.4%	41.0%	42.3%	43.6%	
〈うち75歳以上〉	728	766	737	844	880	812	46
75歳以上の1人を支える15～64歳の人数	4.0人	3.6人	3.5人	2.6人	2.2人	2.2人	
世帯数	1,180	1,249					
1世帯あたり人数	3.46	3.11					
【参考】新潟市全体の 高齢化率	2010年 23.2%	2015年 27.2%	2020年 30.0%	2025年 31.5%	2030年 32.9%	2035年 34.6%	※国のデータのため年度が1年ずれています。

20年間で約1,000人減少

25年間で子どもの数は半減

20年後、働く世代の人口は3分の1減少

高齢者全体の人数は2021年をピークに減少するが、75歳以上の高齢者（支えられる世代）が増加。

人口減で世帯数が増=高齢者などの1人暮らしが増えている？

2016年の小合地区の高齢化率は35.4%で秋葉区内でもっとも高く、約20年後の新潟市全体とほぼ同じ。

住民基本台帳による実績値

推計値

人口減少・少子高齢化は課題ではない！

与件（前提条件）
である。



人口減少・少子高齢化が
進む中で、**可能的将来を
阻む要素こそが真の課題！**

- **冷静に現状を見据え、将来への備えを今から始める。（住民自治の進化が不可欠）**
- **高齢者には、できるだけ長く元気でいてもらう（活躍の場がある）ことは不可欠！**
- **若者世代は少数派。丁寧に意向を聞くといふことをしないと、多数派（中高齢者層）に埋没してしまう。**

大切なのは
自分たちで考え、実行する
という**住民自治の再構築**！

行政は確かにこれから大変になる。
しかし、コミュニティ協議会は行政の肩代わりをやる組織
ではない。

もともと地域自らでやっていたこと
(社会の発展により行政に任せようになってしまったこと)を、
将来に備えて再構築するための**体制づくり**が真のねらい。

地域のニーズを把握する

～住民意識の見える化～

中学生以上全住民アンケート

アンケートのねらいは

住民一人一人の**意識**の見える化

■従来のアンケートは1世帯1枚。

世帯主（お父さん）が答えることが多く、若い世代をはじめ多世代の意向がつかみづらい。

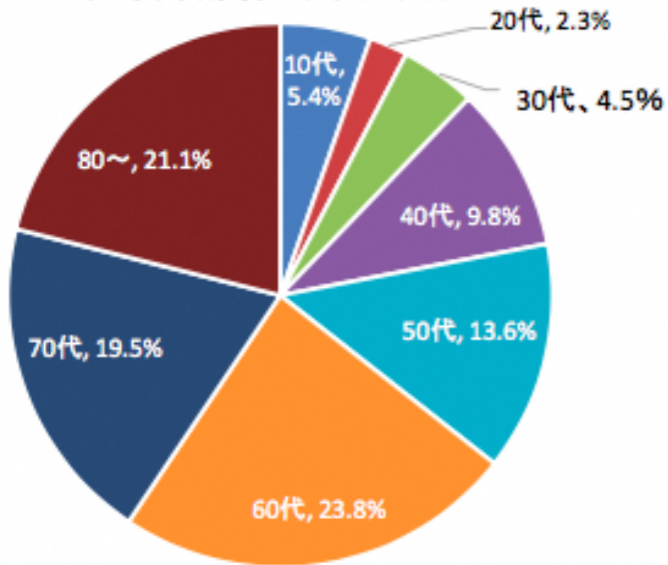
➡ 次代を担う若者（中学生以上）を含めた全住民を対象とする。

■単純集計でなく、世代別や男女別で集計し、結果が意味することを読み解く。

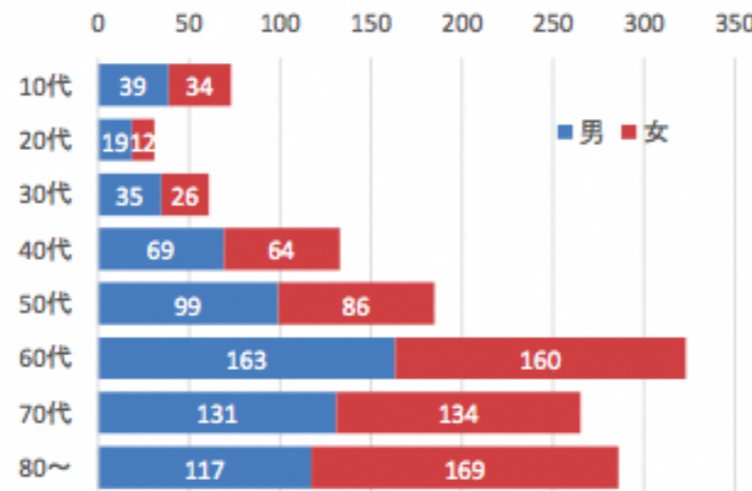
十日町市松之山地区での全住民アンケート

回答者属性

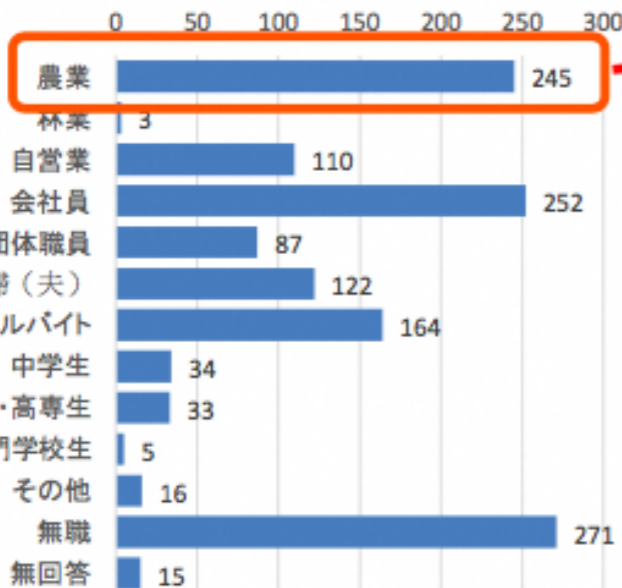
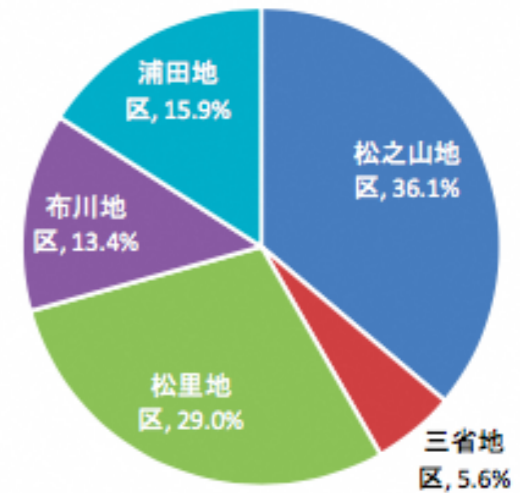
回答者属性(年代別)



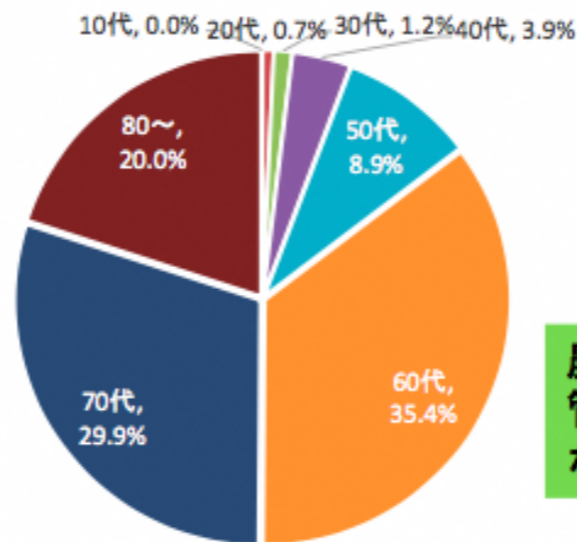
回答者属性(年代×男女)



回答者属性(居住地別)



農業従事者の年代構成(割合)



農地の維持管理はどうなるか？

農業従事者の年代構成(人数)

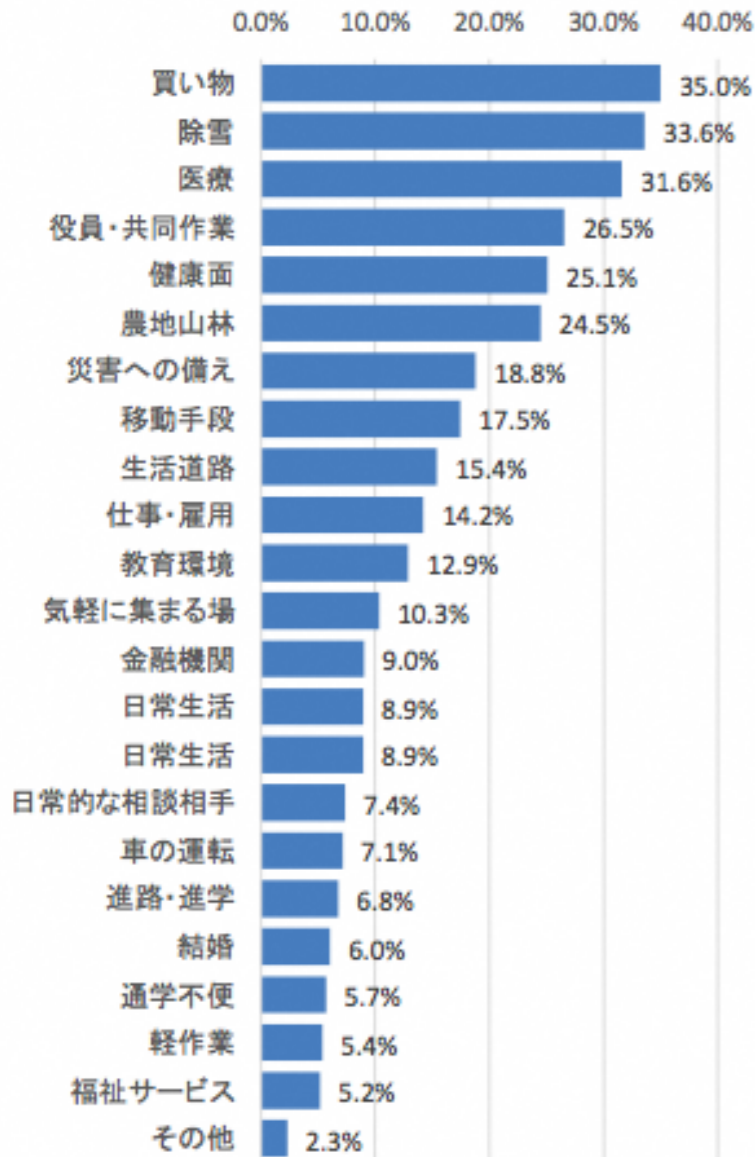
年代	人数		
	専業	兼業	計
10代	0	0	0
20代	0	3	3
30代	2	3	5
40代	2	14	16
50代	4	33	37
60代	72	75	147
70代	88	36	124
80代	77	6	83
計	245	170	415

農業従事者の85.3%が60代以上⇒20年後はどうなる？

十日町市松之山地区での全住民アンケート

暮らしの中の困りごと※複数回答

地区全体(複数回答)



年代別一覧表・順位

	全体	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
日常生活	8.9%	1.4%	19.4%	4.9%	6.8%	2.2%	4.6%	11.7%	18.2%
軽作業	5.4%	0.0%	3.2%	3.3%	2.3%	4.3%	1.2%	7.2%	12.6%
除雪	33.6%	15.1%	29.0%	34.4%	31.6%	33.0%	30.3%	43.0%	35.0%
日常的な相談相手	7.4%	4.1%	0.0%	8.2%	7.5%	5.4%	5.0%	9.8%	10.5%
看病・世話	8.9%	1.4%	0.0%	4.9%	5.3%	5.4%	7.4%	13.6%	14.0%
健康面	25.1%	5.5%	6.5%	13.1%	13.5%	20.0%	26.0%	34.7%	33.2%
買い物	35.0%	65.8%	61.3%	45.9%	36.8%	33.5%	29.4%	33.2%	30.1%
移動手段	17.5%	32.9%	9.7%	21.3%	13.5%	11.4%	11.1%	20.8%	23.4%
福祉サービス	5.2%	0.0%	3.2%	3.3%	5.3%	6.5%	5.0%	4.2%	7.3%
医療	31.6%	9.6%	35.5%	45.9%	36.8%	36.2%	33.1%	34.0%	24.5%
車の運転	7.1%	2.7%	3.2%	4.9%	2.3%	5.4%	4.0%	12.8%	10.8%
災害への備え	18.8%	12.3%	9.7%	21.3%	14.3%	16.2%	17.0%	23.0%	22.7%
生活道路	15.4%	9.6%	16.1%	13.1%	13.5%	19.5%	17.6%	15.1%	13.3%
金融機関	9.0%	1.4%	12.9%	13.1%	7.5%	5.9%	6.5%	7.5%	16.4%
役員・共同作業	26.5%	1.4%	19.4%	31.1%	22.6%	33.5%	33.4%	34.3%	15.0%
仕事・雇用	14.2%	5.5%	35.5%	34.4%	24.1%	27.0%	14.6%	6.0%	4.2%
農地山林	24.5%	2.7%	9.7%	19.7%	18.0%	24.9%	31.6%	32.5%	19.9%
結婚	6.0%	5.5%	9.7%	18.0%	6.0%	4.9%	7.1%	4.9%	3.8%
気軽に集まる場	10.3%	32.9%	29.0%	29.5%	15.8%	7.0%	6.2%	6.8%	5.9%
通学不便	5.7%	11.0%	16.1%	14.8%	11.3%	7.6%	3.7%	4.2%	1.0%
教育環境	12.9%	12.3%	16.1%	31.1%	18.0%	16.8%	12.7%	10.2%	6.6%
進路・進学	6.8%	28.8%	12.9%	19.7%	14.3%	7.6%	4.0%	1.1%	2.1%
その他	2.3%	1.4%	3.2%	3.3%	3.0%	2.7%	2.5%	1.9%	1.7%

順位色分け	1位	2位	3位	4位	5位
-------	----	----	----	----	----

困りごとは世代間でギャップあり

現在の活動を見直す

～まずは自治活動の全体量の把握を～

行事・会議・組織の洗い出し

これからの地域運営、課題への対応には時間の使い方を変えるしかない。

行事・会議・組織をリストラしよう

リストラ（restructuring）は廃止や切り捨てではない。

そもそもの意味は「**再構築**」

1. 「統合」する

単独でやるのではなく「他と一緒にやる」

（より効果的に実施→これも一つの進化）

2. 現行の目的を再設定（変更）する

例：防災訓練＝炊き出し訓練＋住民交流

＝避難や救助訓練＋運動会

地域の茶の間＝高齢者サロン＋放課後の学童保育

これまでのイベントや行事から
困りごとを楽しみながら解決できる知恵と工夫が求められる



課題から考えるのも大切ですが、

結果として解決される

であってよい。

最初は

妄想

でOK。



構想

を練る。



歩きながら

考える

やってみる

妄想：思いつきのまま

構想：実現の手順もある

地域の中には必ず 希望の種がある

整理・統合・組み合わせにより
負担軽減と実施効果を高める
||
マンパワー確保と満足度向上



未来に向けた
課題解決・自治活動
を実行